

令和2年度愛知県立半田高等学校推薦選抜実施要項

- 1 推薦選抜募集人員 本校普通科 募集人員(320名)の10%程度から15%程度
なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね5%とし、上記に含む。
- 2 出願資格
推薦選抜に出願できる者は、本校普通科の一般選抜に第1志望として出願する者のうち、次の(1)から(3)までの条件及び「3 推薦基準」を満たし、出身中学校長の推薦を得た者とする。
 - (1) 令和2年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者であること。
 - (2) 本校普通科を志望する意志が強く、動機・理由が明白・適切であること。
 - (3) 人物及び学習成績が優れていること。
- 3 推薦基準
 - (1) 「㊦ 人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校普通科の教育課程を履修する学力を有するとともに、次の事項のいずれかに該当すること。
 - ア 運動では正選手として活躍し、下記の実績又はそれに準ずる能力・適性を有する者
 - ・ 全国大会・東海大会出場、県大会上位入賞
 - ・ 県大会出場、地区大会上位入賞
 - イ 文化、芸術、科学等の分野で、コンクール・展覧会等で運動のそれに相当する実績又はそれに準ずる能力・適性を有する者
 - ウ 生徒会役員を務めるなど、特別活動等において顕著な活動実績のある者
 - エ 英語に関する資格試験（英語検定準2級以上）や各種大会において顕著な実績を有する者
 - オ その他、部活動の部長や取得資格など顕著な実績を有する者
 - (2) 「㊧ 人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」として、本校普通科の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者又は志願者が「令和2年度愛知県立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証する書類」の事由のいずれかに該当すること。
 - (3) なお、本校においては、「㊨ 人物が優れており、『調査書』の『学習の記録』が優秀で、学習活動において他の模範となる者」についての推薦基準は設けない。
 - (4) 本校の推薦選抜において特に重視すること。
 - ア 学習にまじめに取り組むとともに、部活動にも積極的に参加し、活動する意欲のあること。
 - イ 将来に向けて明確な進路希望を持ち、その実現に向けてねばり強く取り組むことができること。
 - ウ 何事にも自ら積極的に取り組み、礼節をわきまえ、責任をもって行動することができること。

4 出願の手続き

推薦選抜志願者は、「入学願書」に加えて、「推薦書」等の必要書類を出身中学校長を経て本校に提出する。（「入学願書」は、一般選抜の第1志望校用を使用する。）

5 書類の提出期日（郵送による場合も、提出締切日時までに必着のこと。）

(1) 「入学願書」、「推薦書」等

令和2年2月18日（火）及び同年2月20日（木）

受付は、2月18日（火）は9時から16時まで、2月20日（木）は9時から15時までとする。

(2) 「調査書」

令和2年2月18日（火）から同年2月25日（火）まで（土曜日、日曜日及び休日は除く。）

受付は、2月18日（火）、2月19日（水）及び2月21日（金）は9時から16時まで、2月20日（木）及び2月25日（火）は9時から15時までとする。

6 面接の実施期日

令和2年3月10日（火）

7 面接の実施方法

(1) 推薦選抜の面接は、一般選抜のみに出願した者とは別に行う。ただし、一般選抜の面接を兼ねる。

(2) 推薦選抜の面接においては、自己の特性などを1分間程度で答えさせる質問等を行う。

8 合格者の決定

推薦選抜における合否の判定は、出身中学校長から提出された「推薦書」、「調査書」、その他必要な書類の内容及び面接等の結果を資料として、総合的に行う。

なお、推薦選抜で合格とならなかった者については、一般選抜における校内順位を決定する。

9 合格者の発表日時及び発表方法

令和2年3月18日（水） 10時

掲示により合格者を発表し、出身中学校長を通じて受検者本人に通知する。

10 その他

推薦基準となる実績については、その具体的内容、期日及び主催者などを明記すること。